

2023年7月26日

島根県知事 丸山 達也 様

日本共産党島根県議団
団長 尾村利成
幹事長 大国陽介

美保基地への米軍機緊急着陸にかかる緊急要請

7月21日午前10時半頃、航空自衛隊美保基地に米軍三沢基地所属のF16戦闘機2機が緊急着陸しました。緊急着陸によって、滑走路が約20分間、閉鎖され、羽田空港発の旅客機の到着が10分遅れるなどの影響が生じました。

美保基地は2007年に米軍基地化されており、同年には日米共同統合演習が行われ、2014年には連続離着陸訓練（タッチアンドゴー）が実施され、最近では、6月23日に米軍機（C-130J）2機が飛来しています。

県内における米軍機の緊急着陸は1999年、2002年にも発生し、2021年10月には、萩・石見空港に岩国基地所属の最新鋭ステルス戦闘機F35Bの2機が緊急着陸しました。米軍機の緊急着陸は今回で4度目となり、異常事態といわなければなりません。

この間、美保基地には、C2輸送機や大型ヘリCH-47JA、新型空中給油機KC-46Aが配備され、住民からは、部品落下や騒音への懸念や「基地が攻撃対象になるのではないか」など不安の声広がっています。

岸田首相は、日本国憲法も「専守防衛」もかなぐり捨てる敵基地攻撃能力の保有と大軍拡をすすめ、日本を米国の対中国軍事戦略の最前線基地にすえようとしています。日本の防衛とは関係のないアメリカの戦争に、日本と島根県が巻き込まれることがあってはなりません。

以上の点を踏まえ、下記の事項を要請します。

記

1. 今回の緊急着陸の徹底した原因究明と万全なる再発防止・安全対策を求めること。
2. 住民の安全に関わる事案等が発生した場合には、速やかな情報提供と丁寧な説明を行うこと。
3. 米軍に、全国どこでも部隊を自由に配備し、国内法を無視した訓練を認めるなどの異常な特権を与えている日米地位協定の抜本的見直しを求めること。